

株式会社 イネックス



代表取締役
小田 陽一

長崎県
佐世保市指方町3438-6

1998年(平成9年)設立
0956-27-0081

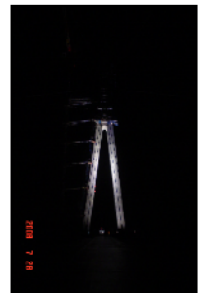
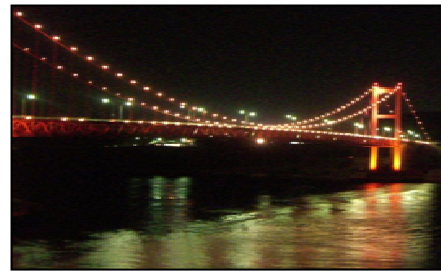
<http://www.inex.co.jp>

省電力・長寿命 LED(発光ダイオード) 照明器具

LED照明器具、国内最小のスリムライトから長距離到達型、近距離広角型、水中等、カスタマイズされたLED製品シリーズ。

長距離到達型LED照明器具

約二年の歳月をかけ、高度な熱設計・光学設計のもとで実現した国内初のLED照明器具で70m先での照度約70Luxを実現。従来の光源に比べ、電力使用量を1/8~1/10に低減できるため橋梁のライトアップに採用された。



新幹線のぞみ500系に採用

鉄道という過酷な状況下で、20w蛍光灯の代替品としてLED照明器具を完成し、20年12月に新幹線のぞみ500系に採用された。



Ecoボール 電球型LED照明器具(5w)

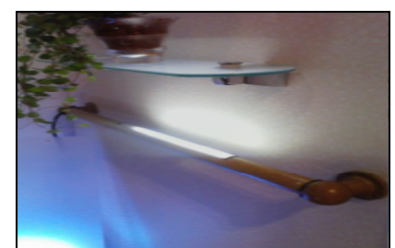
従来の電球(2011年製造中止となる。)の40wに相当する電球型LED照明器具を製造。従来の光源と同じE26のソケットで簡単に交換できる。

LEDスリムライト

国内最小で(幅24mm×高18mm、長300・600・600以上(カスタマイズ可)かつ、100V直接入力で狭いスペースで使用可能等あらゆる場所で使える完全防水型のLEDライトを製造(手摺等に組込可)。長さ300mmで55本迄、連続して接続することができる。

各地のライトアップ事業で採用

天皇皇后両陛下ご成婚50周年記念事業のライトアップにも採用された。



新方式の 非破壊糖度計を 製品化

株式会社 メカトロニクス

長崎県
佐世保市瀬戸越4-4-26

1983年(昭和58年)設立
0956-40-7802

<http://www.mechatronics.co.jp>



代表取締役
立石 賢二

公設試の特許技術を有効活用して製品化に取り組む。

産業用機器から出発

同社は現社長がオイルショック後の昭和58年に、マイクロコンピューターを産業機器へ利用する目的で設立。その名のとおり、当時は自動制御・計測、省力化機器をマイコン制御することが主な業務であったが、その後はFAX用電子回路基板の検査装置等を手がけるようになり、機械の制御よりもむしろ計測へ、大きいものよりも小型の機器へシフトしていった。

研究者御用達

当初の顧客は主に製造業の生産現場であった。開発する機器はそのほとんどが特注品、いわゆる一品料理である。同じものを作ることは稀で、常に新しい技術開発の連続である。その結果、幅広い分野での技術と開発力が蓄積されていった。

また、新しい技術へ躊躇無く挑戦する姿勢は研究者に好感を持たれ、大学・公設試・企業等の研究者からの相談事が多くなっていった。研究には市販されている機材以外に特別の装置を必要とすることも多く、そのような人々にとって同社は気軽に相談できる存在として重宝されている。

非破壊糖度計の開発

長崎県工業技術センターで開発されたレーザー光による非破壊糖度計測の技術についても、同社は研究段階から実験機材の製作等で協力しており、製品化に一番近い位置にいた。独自商品の開発という同社の希望と合致したこともあり、長崎県から特許使用の許諾を得て、製品化に取り組んできた。

その結果、画期的な小型化・低コスト化に成功し、一般の個人農家でも導入可能な廉価で使いやすい非破壊糖度計を実現した。

